

第8回 三島市総合計画審議会 委員意見に対する市の考え方

資料 1

NO	施策名	ページ	意見の内容	審議会での回答	担当課	意見に対する市の考え及び計画の修正	計画書修正
1	31移住定住・住環境	83	<指標> 今後、空き家が非常に増えていくと予想される中で、支援実施件数の目標は非常に低いのではないかと。	空き家に関する通報等があったものについて、事情を伺い、所有者からOKをいただいたものについて、指標の数値となっています。相手があることなので、数値を上げるのはなかなか難しいと考えており現在の数値となっています。	建築住宅課	同左	×
2	31移住定住・住環境	83	<指標> 中古住宅の流通促進が非常に重要と考える。流通率を上げるような指標を入れ込むのが必要ではないか？	中古住宅の流通の必要性は高い。国の報告では中古住宅の流通は増加傾向となっているとおり、そちらを下支えできればと考えております。	建築住宅課	同左	×
3	31移住定住・住環境	83	<現状と課題> 「……物件や生活環境など、移住者の希望に添えない」とは？ また申し越し掘り下げて記載したほうが良いのではないかと。	三島駅周辺のアクセスが良い物件が人気があるが、価格とのマッチングで上手くいかないことが多くある。今後、不動産業界等と連携を進めていきたいと考えています。	政策企画課	移住者の希望は様々であるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響など、社会の状況においても変化していくことから、現在の案「物件や生活環境など」という表現にとどめたいと考えています。	×
4	31移住定住・住環境	84	<施策の方向>(1)① 移住定住のWEBサイトの改善などは入れられないか。 情報に強弱をつけてビジュアルを伴ってできないか。文言として入れることで、三島市として力を入れていくことが分かりやすい。	様々な方から指摘を受けており、リニューアルをする予定です。計画書への記載は検討していきたいと考えています。	政策企画課	移住定住に限らず、対象者に届きやすい、分かりやすい情報発信は非常に重要であると考えます。市のホームページ全般については36広報・広聴の4施策の方向(1)①で記載しているものであり、移住定住についてもこちらに含めております。なお、今後、移住定住のホームページ「住むなら三島」についてはリニューアルを進めていきます。	×

NO	施策名	ページ	意見の内容	審議会での回答	担当課	意見に対する市の考え及び計画の修正	計画書修正
5	31移住定住・住環境	84	<施策の方向>(1)① 「本市の強みを生かし…」見出しなので、地の利や立地など具体的な表現に修正できないか	地の利の強みは首都圏までのアクセスの良さ、富士・箱根・伊豆の近さが非常に強みとして考えています。 また、歴史や自然、文化などの強みもあり、見出しでは表現しきれないと考えておりますが、文中での修正を検討していきたいと思っております。	政策企画課	ご意見を踏まえ、施策の方向(1)①について以下の通り修正します。 <修正案> 「首都圏へのアクセスの良さや自然、歴史、文化など本市の強みを生かし…」	○
6	31移住定住・住環境	84	<施策の方向>(3) 空き家を維持管理するだけでなく、人口減に対応し空き地を駐車場にするような有効活用への取組が記載できないか。	休閒地利用対策として、自治会等から依頼があれば、広場として活用することをしていますが、駐車場への活用がどこの施策に入れるかは検討していきます。	建築住宅課	空き家を解体した後の敷地の有効活用については、一概に駐車場として利用するだけでなく、例えば、地域住民の皆様に管理していただくポケットパークや家庭菜園スペース、災害時の一時避難場所等、様々な用途や取組に繋がれるものと考えられることから、施策の方向(3)②1行目「空き家等の利活用を推進します」に意味を含ませています。	×
7	31移住定住・住環境	84	<施策の方向>(3)① 廃屋や荒廃住宅の関係などを計画に入れ込んだ方がよいのではないかと、また、利活用として(2)①リノベーションの考え方も取り入れられないか。	表現の方法については、検討していきたいと思っております。	建築住宅課	廃屋、荒廃住宅となってしまった問題なども含め、「多岐にわたる空き家に関する問題」との表現で全てを含んでいます。廃屋等になった原因は、相続や家財道具の処分、その他様々な要因があることから、専門家との連携をさらに進め、多くの問題に対応できる体制づくりを目指す旨を記載しております。 施策の方向(3)②に「リノベーションによる付加価値創出の促進」を以下のとおり追記します。 <修正案> 「…、金融機関との連携、リノベーションによる付加価値創出の促進など、…」	○

NO	施策名	ページ	意見の内容	審議会での回答	担当課	意見に対する市の考え及び計画の修正	計画書修正
8	31移住定住・住環境	84	<施策の方向>(3)② 空き家について、移住者にもマッチングできるようにしていただけると良いと考える。	中古住宅については、HP等で紹介をしています。仕組みについて連携を取りながら進めていきます。	政策企画課	民間企業などと情報連携を進め、移住者へのマッチングの向上についても今後進めていきたいと考えています。	×
9	上水道	85	<指標> 三島市は老朽管率が高いが、計画的にやっていると聞いている。指標の中に入れ見える化してはどうか？	水道ビジョンでは目標値を立てていますが、実際には工事費の高騰などにより経営を非常に圧迫してしまいます。また、本管とその他の細かい管では費用も全く違うことなどもあり距離を単純に伸ばすことを目標に置くのも課題があるため、現在の指標となっています。	水道課	老朽管の更新距離を指標に入れていない理由ですが、これまでの管路更新は、高度経済成長期に宅地造成された住宅地など、漏水や赤水の発生が頻発している比較的小口径の管路を中心に更新を行っていましたが、今後は従来の管路更新に加え、災害による断水の影響を最小限にとどめるために、浄水場から配水場へ送る送水管等の基幹管路や災害拠点病院等の重要給水施設管路の更新も行っていく必要があり、毎年、管路の更新投資額は、大きな増減はないものの、それらの管路を更新する場合の更新費用は、管路の口径、施工条件により大きく異なり、単純な距離目標を設定することが難しいため、指標には入れておりませんが、老朽管の更新を、最重要課題として取り組んでいくことに変更はありません。	×
10	32上水道	85	<指標> 指標に老朽管は入れないというご説明でしたが、本当に目的にある「将来にわたり…」を目指すなら正面から取り組むべきでは？	会議終了後の意見	水道課	同上	×
11	33景観	88	<施策の方向>(1)③ 眺望を指定するだけでなく、活用していくことが重要と考える。積極的な言葉で表現できないか。	場所によっては閑静な場所もあり、景観計画で具体的には検討していきます。	都市計画課	同左	×

NO	施策名	ページ	意見の内容	審議会での回答	担当課	意見に対する市の考え及び計画の修正	計画書修正
12	33景観	88	<施策の方向>(1)③ 「富士山をはじめとする…」となっているが、駿河湾の景色もよい。海と山の両方があるので、言葉として入れていただければと思います。	ご意見のとおり、「駿河湾」の眺望も良い場所もある。パンフレットも作製しており、作成の際には検討していきたいと思います。	都市計画課	同左	×
13	33景観	88	<施策の方向> NHKの大河ドラマで当地域が出てくる。関連の整備を進めるような取組を実施してはどうか？	文化財課と相談して検討していきます。	都市計画課	同左	×
14	34水辺空間・公園	89	<指標> 第4次総合計画では都市公園面積を入れていたが、変更した理由は？	新たな公園を整備することは用地や財政面など大きなハードルがあり、面積を増やすことは計画期間内には難しい状況にあります。そのため、ハード的な目標ではなく、今ある公園に対し市民の満足率を向上させる指標に変更しました。	水と緑の課	同左	×
15	34水辺空間・公園	89	<指標> 県内でも公園化率は低く、目標値として示した方が良いのではないか。	再度検討したいと思います。	水と緑の課	指標については検討を重ねましたが、総合計画の指標では現状の市民意識調査の満足率で、公園化率については個別計画で対応していきます。	×
16	34水辺空間・公園	90	<施策の方向>(1)② 「…地域花壇や企業花壇の…」という記載があるが、三島は首都圏に近く、オープンガーデンなど有効だと感じる。地域花壇に加え、オープンガーデンを作る個人花壇を入れてはどうか？	検討していきます。	水と緑の課	ご意見を踏まえ施策の方向(1)②について以下のとおり修正します。 <修正案> 「…地域花壇や企業花壇、またオープンガーデンを作る個人花壇の取組を…」	○
17	34水辺空間・公園	90	<施策の方向>(3)① 防災時の利用も含めた公園の活用について、入れた方が良いのではないか。	防災への転用や、オープンスペースについて横浜市などの事例を参考に検討していきます。	水と緑の課	公園を防災へ転用することについては、個別計画で検討していきたいと考えています。	×

NO	施策名	ページ	意見の内容	審議会での回答	担当課	意見に対する市の考え及び計画の修正	計画書修正
18	34水辺空間・公園	90	<施策の方向>(3)① 市が所有するオープンスペースを官民連携で活用するような取組(例:横浜)が入れられないか。		水と緑の課	ご意見を踏まえ施策の方向(3)①について以下のとおり修正します。 <修正案> 「…また、地域住民などと連携した維持管理や活用方法について…」	○
19	35共創・コミュニティ	93	<指標> 協働・共創の件数はどのようなものがカウントされているのか？なかなか年度によっても差が出ると思うので、難しいのでは。	企業との協定や市民団体との共催、後援などを調査し、数値として記載しています。	政策企画課	指標について検討を重ねましたが、本計画のテーマでもある共創について、全庁的に取組を進める必要があり、その達成状況を確認する指標として、現在の案としています。	×
20	35共創・コミュニティ	93	<施策の方向> 今までの協働と共創とどのように違うのか？市民にもわかりやすいように記載した方が良いのではないか。	記載内容については検討していきたいと思います。共創はスタートの段階から一緒になって対話し考えていくようなもの。今後、市HPIに課題などを提示し、これを解決できる企業や団体と解決していくなど、取組を進めたいと考えています。	政策企画課	諮問案の段階では共創の取り組みが具体化していなかったため、このような表現にとどまっています。その後、検討し具体化してきておりため、施策の方向(1)①、(2)②を以下のとおり修正します。 <修正案>(1)① 「…実現に向け、意識の醸成を図ります。」 以下を追記 「●共創の窓口を設置し、民間企業や団体などからの提案を受け地域課題を共に解決するための体制づくりを進めます。」 <修正案>(2)② 「地域課題への取組体制の強化に向けて、 <u>企業からの提案に基づく事業や地方創生に関する包括連携協定の締結による連携事業、…</u> 」	○

NO	施策名	ページ	意見の内容	審議会での回答	担当課	意見に対する市の考え及び計画の修正	計画書修正
21	35共創・コミュニティ	93	<p><施策の方向> NPOや団体の高齢化、会員の減少も非常に課題である。市民活動団体を増やすという目標だが、現状維持も大変ではないか。</p> <p>(1)③「…職員育成」だけではなく、活動する担い手の育成を入れたらどうか。</p>	追記していきたいと考えます。	地域協働・安全課	<p>ご意見を踏まえ、施策の方向(1)③について以下のとおり修正します。</p> <p><修正案> 「…地域づくりの担い手確保や育成に努めます。」</p>	○
22	35共創・コミュニティ	93	<p><グラフ> 自治会数のグラフを入れている意図は？</p>	指標や現状と課題と合うようなグラフに修正を検討します。	地域協働・安全課	ご意見を踏まえ、記載するグラフを検討します。	○
23	35共創・コミュニティ	94	<p><施策の方向>(1)① 市民に「外国人市民」を加えられないか</p>	検討します。	政策企画課	共生社会の実現に向け、重要な視点であると考えます。現在の案で「…本市にかかわるすべての人が…」としており、外国人市民もこの表現に含めています。	×
24	36広報・広聴	96	<p><施策の方向> 障がい者や高齢者など情報から取り残されやすい人を情報弱者としないように、合理的な配慮を加えていただきたい。</p>	検討していきます。	広報情報課	<p>ご意見を踏まえ、施策の方向(1)①の冒頭に次の●を追加します。</p> <p><追加案> ●すべての人に正確な情報を迅速に提供するため、利用者のニーズを把握するとともに、情報発信体制を強化します。</p>	○
25	36広報・広聴	96	<p><施策の方向>(1)① 「…届けるため」では、市からの一方通行に見えてしまう。 どこかに双方向のコミュニケーションの内容を入れたらどうか。</p>	検討していきます。	広報情報課	<p>ご意見を踏まえ、施策の方向(1)①二つ目の●を以下のとおり修正します。</p> <p><修正案> 「…積極的に活用し広く市民に情報を届けるとともに、<u>双方向のコミュニケーションを図りながら</u>情報発信の体制づくりを進め、…」</p>	○

NO	施策名	ページ	意見の内容	審議会での回答	担当課	意見に対する市の考え及び計画の修正	計画書修正
26	37スマート自治体	98	<施策の方向>(1) 時代のキーワードとして「脱ハンコ」がある、明記した方が良いと思うが、どこかに含まれるのか？	(1)①「オンライン手続きができる環境整備」に含めています。	広報情報課	ご意見を踏まえ、施策の方向(1)①を以下のとおり修正します。 <修正案> 「紙媒体の情報の電子化を進めていくとともに、 <u>押印廃止</u> 、電子申請やキャッシュレス決済…」	○
27	37スマート自治体	98	<施策の方向>(2) 政府は2025年までにシステムの標準化を進めるよう言っている。(2)に「国との連携」などの項目を入れた方が良くはないか。	検討していきます。	広報情報課	ご意見を踏まえ施策の方向(2)①を以下のとおり追加及び修正します。 <修正案> ● <u>国の進めるシステムの標準化・統一化について国と連携して取り組みます。</u> ●行政運営における各種事務作業の簡素化やシステム化、システムの平準化に向けて、 <u>24時間365日市民からのお問い合わせに対応するAIの活用や定型業務を自動化するRPAなどの先進技術の導入を検討・推進するとともに、業務の見直しと職員のICTリテラシーの向上を図ります。</u>	○
28	37スマート自治体	98	<施策の方向> AIの活用が進んでいるが、市役所の業務ではどのように活用していくのか？	昨年、AIサービスを開始しました。24時間問い合わせ対応ができるようになっております。	広報情報課	<u>24時間365日市民からのお問い合わせに対応するAIの活用や定型業務を自動化するRPAなどの先進技術の導入を検討・推進するとともに、業務の見直しと職員のICTリテラシーの向上を図ります。</u>	○
29	37スマート自治体	98	<施策の方向>(2) スマート自治体の実現では、ICTの推進とともに、職員でなければ出来ない仕事を職員が担うことで、市民サービスが向上できるような体制づくりが必要であると考えます。 ②働き方改革の推進だけではなく、積極的な表現にしてはどうか？	(1)①～③までで市民サービスを低下させない取組として記載しています。	政策企画課/ 広報情報課		○
30	37スマート自治体	98	<施策の方向>(2) AIやICTは、少子高齢化の中で市民サービスの低下を招かないだけではなく、行財政のスリム化も必要となっている。職員の仕事の在り方についても入れ込むことも必要ではないか。	検討していきます。			

NO	施策名	ページ	意見の内容	審議会での回答	担当課	意見に対する市の考え及び計画の修正	計画書修正
31	37スマート自治体	98	<施策の方向>(3) 「産官学による情報化の推進」について、民間に情報がどのように渡り、どのように管理されるのか。個人情報に関するリテラシー向上についても記載していただきたい。	(3)に記載した内容については、個人が特定できないデータのみを扱います。(2)②「…セキュリティ対策の強化に努めます」は職員の個人情報に関するリテラシー向上を含めております。	広報情報課	ご意見を踏まえ施策の方向(3)①について以下のとおり修正します。 <修正案> 「調査研究・検証を進めるとともに、 <u>個人が特定されないよう情報の取り扱いに配慮したデータ流通を促進する環境づくり</u> …」	○
32	37スマート自治体	98	<施策の方向>(3)② 「小中学生やシニアを対象に…」とされているが、保護者世代にもデジタルになじみがない人もいる。全世代を対象とできないか。	小中学生、シニアにはセキュリティ教育を実施しています。これからの手続はスマートフォンが中心になっていきますので、その機会を創出していきたいと考えています。	広報情報課	ご意見を踏まえ施策の方向(3)②を以下のとおり修正します。 <修正案> 「ICTの活用によるデジタルライフの充実に向けて、 <u>全世代を対象にICT関連学習や講座を実施するほか、</u> …」	○
33	38財政運営	100	<施策の方向>(2)① 廃止した施設の活用についての公民連携(PPP)のことが記載されていない。②の内容とは違う気がする。	会議終了後の意見	管財課	PPP(公民連携)の中には、PFI、指定管理者制度、市場化テスト、公設民営(DBO)方式、包括的民間委託、自治体業務のアウトソーシングなどが含まれます。 4-(2)-②の記載は、公民連携(PPP)のうち「公共施設の施設運営」として、導入可能な公民連携手法(民間活力を活用した手法)である指定管理者制度、包括管理業務委託を具体的に明記したものです。	×
34	38財政運営	100	<施策の方向>(3) 新庁舎の建設は、新型コロナウイルス感染症、スマート自治体の考え方も踏まえ、時代に合った検討が必要であると考えます。コロナの状況を見ながら時間をもって考えるべきと考えます。	令和13年度はコロナ発生前のもので、コロナ禍では庁舎が分散した方が良いという見方もできます。またデジタル化が進めば当然、規模も小さくなると考えており、(3)②では「令和13年度…目途」と記載しています。必ず13年度に完成ということではないとご理解いただきたいと思います。	管財課	同左	×

NO	施策名	ページ	意見の内容	審議会での回答	担当課	意見に対する市の考え及び計画の修正	計画書修正
35	38財政運営	100	<施策の方向>(3) 新庁舎について、コロナによって庁舎の必要な形、形状、役割など大きく変わることが予見される。これは時間をかけて急がず取り組むべきでは？	会議終了後の意見	管財課	コロナ対策を含めた課題の共有について、市民、議会、行政の三者が連携して新庁舎建設に向けた検討を行うとしております。また、令和13年度の新庁舎供用開始までの時間は、課題解決に向けた検討期間としては十分な時間と考えています。	×
36	39行政運営	101	<施策の方向> 現状と課題に「広域連携の推進による、行政コストの低減」とあるが、富士山南東消防組合はコストの低減が言われていたが、実際には高くなっている。改善することを盛り込めないか。	会議終了後の意見	危機管理課	組合消防のコスト改善は、本市が主体的に取り組むことができないため計画に盛り込むことは難しいですが、広域消防組合財政計画と実際の予算・決算の乖離について、関係部課長会議等の機会に組合消防にコスト改善を求めていきます。	×
37	35共創・コミュニティ	94	<施策の方向>(3)① 自治会・町内会の役員は負担であると感じる市民も多い。今後負担がさらに増えないか危惧している。共創を理念とした市の考え方を十分に理解した町内会の新しい意義や、各町内の仕事内容を明確に伝えていただけると助かる。時代により町内会の在り方も変わっていくのかもしれないが、市が今後、町内会に望む姿やあり方を明確に(していく姿勢を)本構想に反映していただけると助かる。	会議終了後の意見	地域協働・安全課	自治会・町内会は、地域の核となり、防災活動、環境美化、交通安全、伝承事業等をはじめ、地域住民が安全安心して生活できるよう活動を行っています。委員のご意見は十分に認識していることから、施策の方向(3)①を推進する中で、三島市自治会連合会とさらなる連携を図ってまいります。	×